

地域課題・目指す将来像

地域課題

- いなべ市では、令和2年度に3人で1人の高齢者を支えている状態だったが、令和12年度には1.8人で1人の高齢者を支えなければならない時代が来ると予想される
- 現状では、高齢者の一人暮らし世帯も多く、デジタルを利用できる環境がないことも多い。高齢者を支える人員が確保できている今、デジタルを活用した高齢者の健康づくりや見守りを推進する必要がある
- 広い市域に集落が点在しており、**高齢者の健康や生活を支える移動手段の確保**も課題

将来像

- 「通いの場」をキーステーションにIT、IoTを通じた健康づくり、買物、生きがいづくりなど、**高齢者デジタルライフ**を創造

推進体制

名称：いなべ市未来技術地域実装協議会

地方公共団体	いなべ市、地域活性化起業人
国（★は現地支援責任者）	★厚生労働省（東海北陸厚生局）、デジタル庁（国民向けサービスグループ）、経済産業省（中部経済産業局）、国土交通省（中部運輸局）
医療機関、研究機関	いなべ総合病院、日下病院、国立長寿医療研究センター
民間事業者	いなべ市社会福祉協議会、ショッピングリハビリカンパニー(株)、岐阜ダイハツ販売(株)、ひかり&ホープ(株)、(株)ダイハツ三重、大日本印刷(株)、MRT(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)インファーマシーズ、ADWホールディングス(株)

課題解決に向けた取組

(図：いなべ市提供)

実フィールドとデジタルを併用した「健康管理」「生活支援」「移動手段の高度化」「見守りサービス」を提供

⇒誰もが安心して住み続けたいと思える地域をつくり、
高齢者の介護予防による医療費や介護保険給付の抑制も期待

①移動手段の高度化【AI】

- AIオンデマンドタクシーや乗り合い送迎による移動手段の効率化
- **ユニバーサルMaaSの構築**により、高齢者が気軽に利用できる交通手段の確保

②高齢者の健康管理【IoT、ビッグデータ等】

- 体組成計を活用したPHRの推進、**オンライン診療**
- **メタバース**を活用したクリニック・運動支援

見守りサービス

- **通信技術**を活用した安否確認、
- GPS機能による位置情報確認、医療情報等の共有

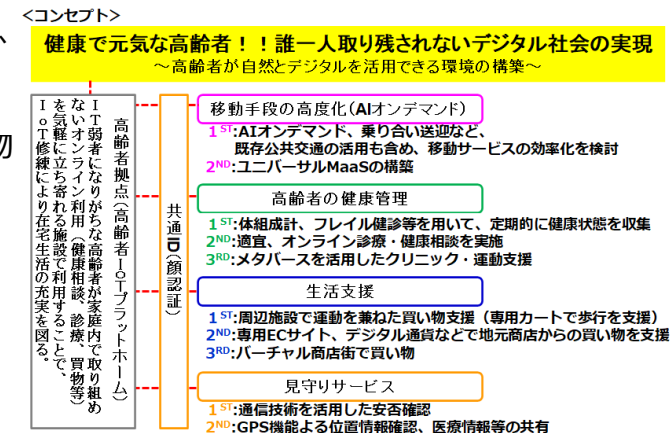
③高齢者の生活支援【IoT】

- 運動兼買い物、ECサイト、デジタル通貨

- **メタバース**を活用したバーチャル商店街で買い物

高齢者IoTプラットフォーム

- デジタル活用講座の実施
- **顔認証**を活用した共通IDシステムの構築



① 移動手段の高度化【AI】、② 高齢者の健康管理【IoT、ビッグデータ等】、③ 高齢者の生活支援【IoT】

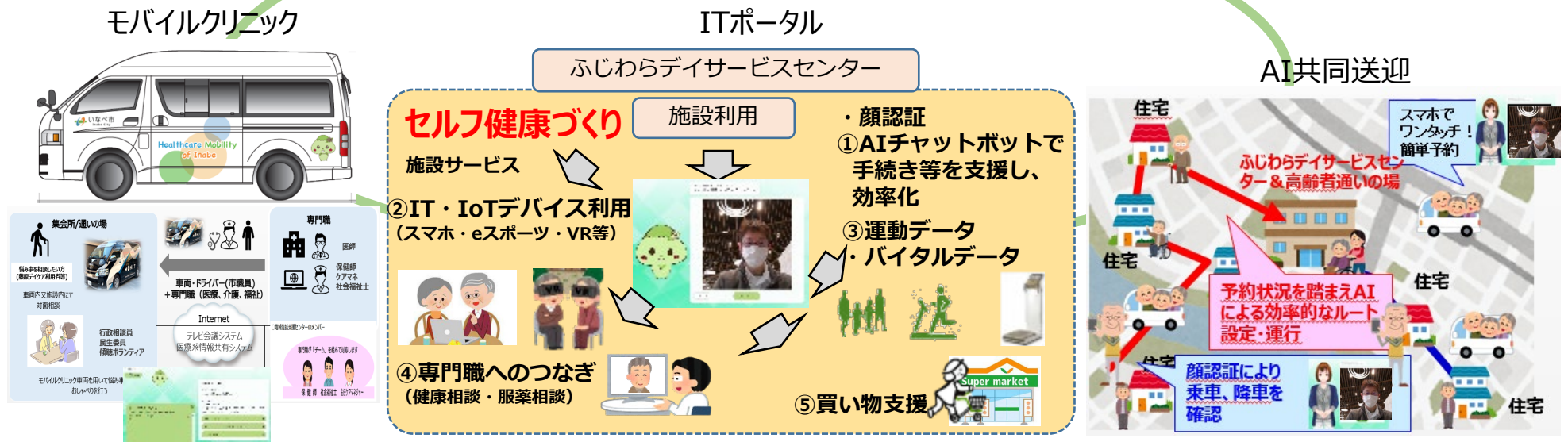
取組内容

(図：いなべ市提供)

➤ 高齢者デジタルライフ整備事業を実施（デジタル田園都市国家構想推進事業）（2023年10月～）

- いなべ市社会福祉協議会が運営する市の施設「ふじわらデイサービスセンター」に高齢者デジタルライフ事業（3事業：ITポータル整備事業、AI共同送迎整備事業、モバイルクリニック整備事業）を実施
- ふじわらデイサービスセンターに集う介護予防、認知症予防、フレイル予防高齢者に対し、健康づくりと生活習慣改善を提案（ITポータル）し、効率的な送迎サービスの開始（AI共同送迎）。また、潜在的な介護予防、認知症予防、フレイル予防の必要な高齢者へのアウトリーチと将来的な医師不足に対応できるよう医療MaaS車両を配置（モバイルクリニック）

「顔」をIDにし、AIチャットボットから「顔」に向けサービスの提供
「顔」に紐づくPHRデータを収集。



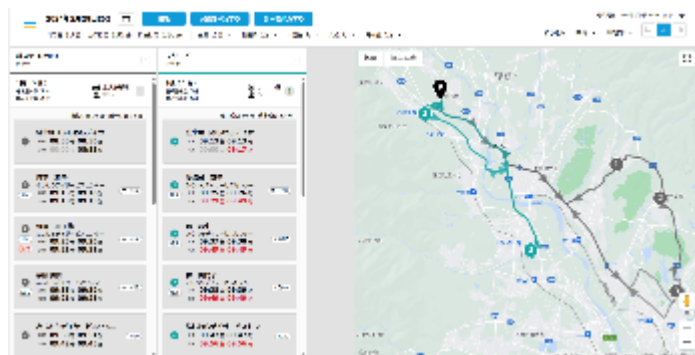
① 移動手段の高度化【AI】

取組内容

(写真・図：いなべ市提供)

➤ AI共同送迎（2023年10月～）

- ・教室等へ自走できない免許返納、交通弱者などの元気高齢者の送迎をシステム化
【システム化イメージ】送迎ルートを生AIが生成～スマホによる送迎ルートのナビ（スマホ）～顔認証による利用者の確認
- ・ダイハツ工業の「ゴイッショ」を導入



① 移動手段の高度化【AI】

取組内容

(写真：いなべ市提供)

➤ シェアカーの福祉利用の社会実装に向けた検討 (2023年10月～)

- いなべ市、株式会社ダイハツ三重、いなべ市社会福祉協議会、ボランティア団体あじさいまごころ隊の連携により、シェアカーの福祉利用の実証実験を、令和5年度も継続実施
- オレンジ工房あげきにトヨタシェアステーションを開設し、高齢ボランティアによる交通弱者移動支援、いなべ市社協移動、いなべ市公用などの分野で、シェアカーの採算性が確保できるだけの稼働があるかを検証
- ボランティア輸送の概要
ボランティア団体「あじさいまごころ隊」8名のうち7名の高齢ボランティアドライバーボランティアドライバーが、TOYOTA SHARE アプリでシェアカーを予約し送迎通所型サービスB（住民主体）の4会場への利用者送迎
- 実証の結果、令和6年度より社会実装することとなった



ボランティアドライバー



株式会社ダイハツ三重いなべ店 安全運転講習会



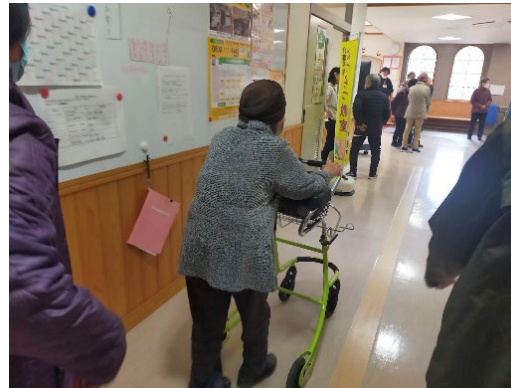
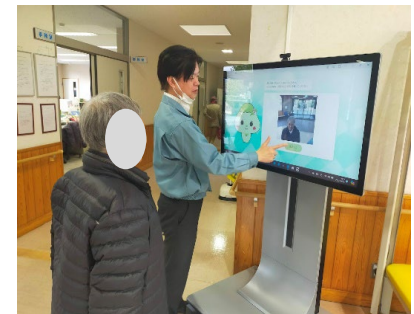
② 高齢者の健康管理【IoT、ビッグデータ等】、③ 高齢者の生活支援【IoT】

実装内容

▶ ITポータル（2023年10月～）

- AIチャットボットによる受付、予約、サービス案内
- 「顔」にIDを付番し、IDに紐づくPHRを収集（経過比較可能）
○PHR：体組成計測定値、サービス利用時間、ウェアラブル端末（運動量、ストレス値、睡眠時間）、食事情報（スマホ投稿※任意）
- タノテック、eスポーツ（太鼓の達人）、フィットネス+脳トレ（コグニサイズ）など、楽しく運動、認知症予防できるサービスを構築
- 令和5年度は、いろいろコース、運動コース利用者 50名に対しサービス提供
- 参加者の70%に筋力低下（サルコペニア）を確認し、PHRに基づく生活習慣改善アドバイスを実施し、筋力量、体重の増加や睡眠時間の改善例を多数確認
- 令和6年度は収集したPHRを分析し、生活習慣改善アドバイスの体系化、マニュアル化を検討し、健康高齢者の増加をめざす
- 専門職等を交えて、PHR項目の過不足を協議し、データの資質向上を図る

(写真：いなべ市提供)



② 高齢者の健康管理【IoT、ビッグデータ等】

実装内容

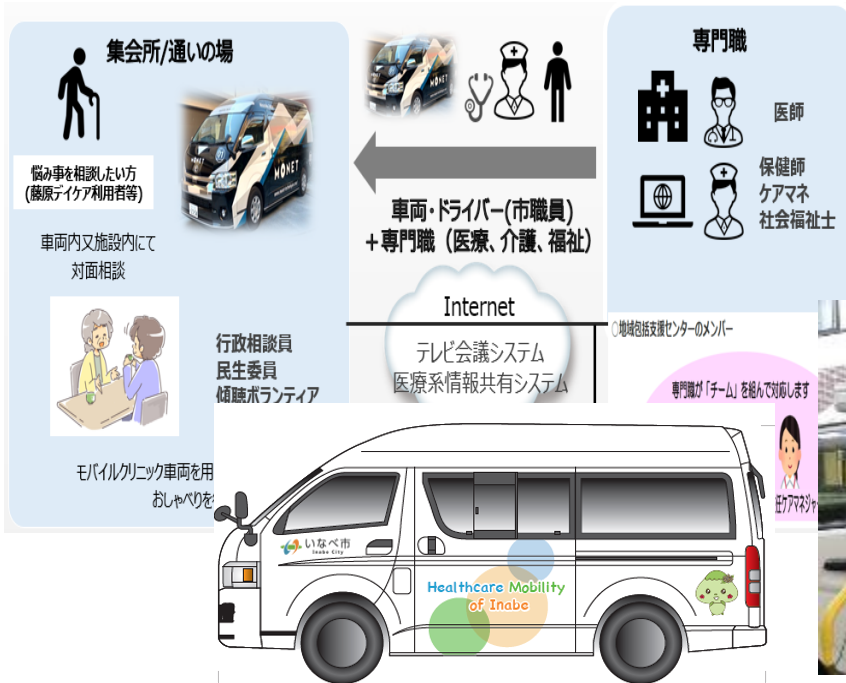
➤ モバイルクリニック（2024年2月～）

- ・医療MaaSタスク車両 モバイルクリニック により、オンライン相談を軸にアウトリーチを実施
車内測定可能な体組成計（SKY10）を配備し、健康づくり未実施高齢者等の行動変容を促す（ふじデイへの誘導など）

オンライン相談 専門職による相談（保健、健康、認知、医療、服薬）

- ・令和5年度は、納車に時間を要し、実働件数が伸び悩んだ。令和6年度は訪問先の拡充を図りモバイルクリニックの認知度の向上に努めるとともに、オンライン診療の実施も検討する

(写真：いなべ市提供)



③ 高齢者の生活支援【IoT】

実装内容

(写真・図：いなべ市提供)

➤ **スマホなんでもサポート号（ソフトバンク株式会社）による移動型スマホ教室を開催（2023年10月～）**

- 従来の教室方式では解決しづらいスマホリテラシーの解消について、10月より移動型スマホ教室を、月～金（祝日を除く）に実施。（情報通信技術講習事業費補助金 文部科学省 国民のデジタルリテラシー向上事業）
- 移動型スマホ教室は、車両内に最大3名が乗車し、スマホアドバイザー®によるオンライン形式の講座を受講。ヘッドフォン装着による聞き漏らしの防止、同乗のサポートスタッフのフォローを受けながら、きめ細やかな教室運営を実施
- 機動性を活かし、市役所などの公共施設以外の駅や集会場を会場に開催することで、交通弱者等が参加しやすい環境づくりに配慮した結果、老人会、シルバー人材センターなどとも連携開催でき、リピート率も高く、全国的に高い参加率をほこり、高齢者を中心に着実にスマホリテラシーの解消につながっている
- 今後、行政サービス、民間サービスのオンライン化、アプリ化が進むことが予想されることから、令和6年度も引き続き開催していく



いなべ市主催 移動型 スマホ教室 **参加無料**

講師会社はどこでもOK | 何歳でも分るまで参加可能 | 販売、営業行為なし | スマホの貸し出しできます

いなべ市で延べ500名を超える方が参加しています！

QRコードをばって申込ができた！

LINEで課とテレレ電話ができた！

地域で迷わず目的地に行けた！

いなべ市アプリで健康管理を始めた！

ご予約 **0800-111-9442** (通話料無料)

参加のお申込み方法は裏面をご確認ください。

開催情報 (いなべ市情報誌Linkにも掲載中)

開催場所 (右のカレンダーで開催日・開催場所をご確認ください)

開催日	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① いなべ市役所 (北勢町下藤31)			1	2	3	4	5	6	7	8
② 再井町老人福祉センター (高井町田原田111)			9	10	11	12	13	14	15	16
③ ふれあいの駅、つりばう (真井村大塚2-5-17)			17	18	19	20	21	22	23	24
④			25	26	27	28	29	30	31	

【スマホの相談窓口】も開設中
お気軽にお越し下さい。

講座内容 (日付・時間毎に申込み。各講座は1時間 (45分+質疑応答15分))

講座	3月	4月
午前1時～	スマホの基礎講座	スマホの基礎講座
午後1時～	LINEで課とテレレ電話講座	LINEで課とテレレ電話講座
午後2時～	スマホの基礎講座	スマホの基礎講座
午後4時～	スマホの基礎講座	スマホの基礎講座

参加方法
事前に電話でご予約の上ご来場下さい！
※空席がある場合は当日参加可能。予約をせず現地係員にご相談ください。

ご予約 0800-111-9442 (通話料無料)
受付時間：午前9時～午後5時 ★年中休休・土日祝も受付可★
ご予約の変更・キャンセルもこちらにご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ
いなべ市役所 都市整備課
0594-86-7807